

iPhone スマートフォン初心者編

iPhoneの基礎 アクセシビリティ設定



iPhoneの基礎・アクセシビリティ設定

目次



1. iPhoneの各部名称と電源操作

1-A 本体各部の名称	P4
1-B 電源の入れ方	P7
1-C 電源の切り方	P9
1-D ホーム画面に戻るには	P11

2. アクセシビリティ設定

2-A 文字のサイズと太さの調整	P14
2-B 画面の色を反転	P17
2-C 画面の拡大（ズーム機能）	P18
2-D 画面の明るさを調整	P20

1

iPhoneの各部名称と 電源操作



アイフォンの主要なボタンやスイッチの位置と名称です。

1-A iPhoneの各部名称と電源操作

本体各部の名称【ホームボタン搭載機種】



①ホームボタン/Touch（タッチ）ID センサー

iPhoneのロックを解除したり、アプリ使用中にホーム画面に戻る時などに使用します。このボタンを長押しするとSiriを呼び出すことができます。また設定を行うと、3回連続で押すことで、VoiceOverや反転表示など、アクセシビリティ機能をオンオフする設定も可能です。

②サイドボタン

iPhoneのスリープを解除したり、スリープモードにする時に利用します。また、電源を入れたり、切ったりする際にも使用します。

③着信/サイレントスイッチ

スイッチを背面側にスライドすると消音モードになります。

④音量ボタン

上のボタンで音量を上げます。下のボタンで音量を下げます。

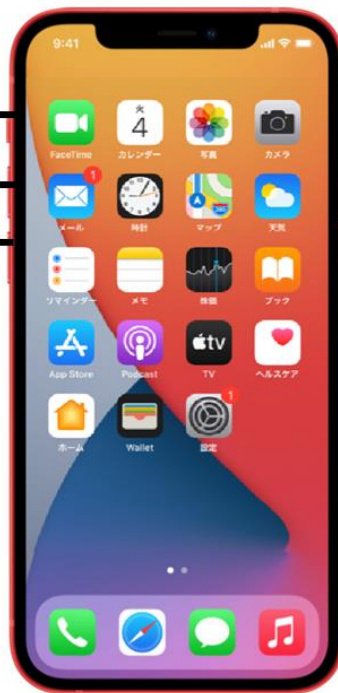
※【スリープモード】

画面が消えて、意図しないタッチ操作や余計なバッテリーの消費を抑えられます。数分操作しなければ、自動的にスリープモードに移ります。スリープモードの状態でもう一度電源ボタンを軽く押すと、スリープモードが解除できます。

1-A iPhoneの各部名称と電源操作

本体各部の名称【ホームボタン非搭載機種】

着信/
サイレント
スイッチ
音量を上げ
る/下げる



サイド
ボタン

① サイドボタン

iPhoneのスリープを解除したり、スリープ状態にする時に利用します。このボタンを長押しするとSiriを呼び出すことができます。

また、音量を上げる/下げるボタンのいずれかと同時に押すことで電源を切る際にも使用します。

設定を行うと、3回連続で押すことで、VoiceOverや反転表示など、アクセシビリティ機能をオンオフする設定も可能です。

② 着信/サイレントスイッチ

スイッチを背面側にスライドすると消音モードになります。

③ 音量ボタン

上のボタンで音量を上げます。下のボタンで音量を下げます。

1-A iPhoneの各部名称と電源操作

本体各部の名称【全機種共通】

メインカメラ



受話口



Lightningコネクタ

スピーカーとマイク

①メインカメラ

指で触れると出っ張った円形の突起です。テレビ電話や写真の撮影、視覚障害者向けの画像認識アプリを利用する際に使用します。

②Lightning（ライトニング）コネクタ

Lightningケーブルを接続して充電用に使います。2016年以降に発売のものはイヤホンジャックがなく、ここにイヤホンを差します。

③スピーカーとマイク

マイクは電話の送話口として使用されますので、指や手で塞がないようにしましょう。

④受話口（イヤースピーカー）

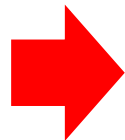
指先で触れると横に細長い隙間のようになっています。通話の際はここから相手の声が聞こえます。

1-B iPhoneの各部名称と電源操作

電源の入れ方【ホームボタン搭載機種】

電源の入れ方は機種により異なります

- ① 右側面の上の方にあるサイドボタンを長押しします。
- ② 設定した4桁以上(初期は6桁)のパスコードを入力します。
※ 設定しないことも可能。その場合はホームボタンを押すことでホーム画面に移動します。ただしセキュリティの面からお勧めしません。
- ③ パスコードを入力後、ホーム画面が表示されたら操作が可能となります。



VoiceOverを使用している場合は、ホーム画面左上のアイコン名を読み上げます。

※ 電源を入れ直した場合やiPhoneの更新による再起動後は、タッチID(指紋認証)を登録していてもパスコードの入力を求められます。

1-B iPhoneの各部名称と電源操作

電源の入れ方【ホームボタン非搭載機種】

- ① 右側面の上の方にあるサイドボタンを長押しします。
- ② 本体下部の淵部分から上に向かって指を大きくスライドします。
- ③ 設定した6桁のパスコードを入力します。
- ④ パスコードを入力後、ホーム画面が表示されたら操作が可能となります。



※ VoiceOverを使用していた場合には、電源が入った段階でポコッと合図音が聞こえます。

VoiceOverを使用している場合は、ホーム画面左上のアイコン名を読み上げます。

※ 電源を入れ直した場合やiPhoneの更新による再起動後は、フェイスID（顔認証）を登録していてもパスコードの入力を求められます。

※ 購入直後はパスコードやフェイスIDが無効に設定されている場合があります。このときは、電源を入れると、ホーム画面に移行します。

1-C iPhoneの各部名称と電源操作

電源の切り方【ホームボタン搭載機種】

電源の切り方は機種により異なります

- ① 右側面の上の方にあるサイドボタンを長押しします。



②

VoiceOverを使用している場合、「スライドで電源オフ」と聞こえたら、画面中央をダブルタップします。

※ VoiceOverの読み上げ位置がずれている場合がありますので、その場合はタッチ操作か左右のスイープ操作で「スライドで電源オフ」に合わせてからダブルタップしてください。

VoiceOverを使用していない場合は、画面上の「スライドで電源オフ」と書かれた箇所を左から右にスライドすると電源が切れます。



※ 最近のスマートフォンはバッテリー容量が大きいので電池残量を気にして電源を切る必要はありません。

1-C iPhoneの各部名称と電源操作

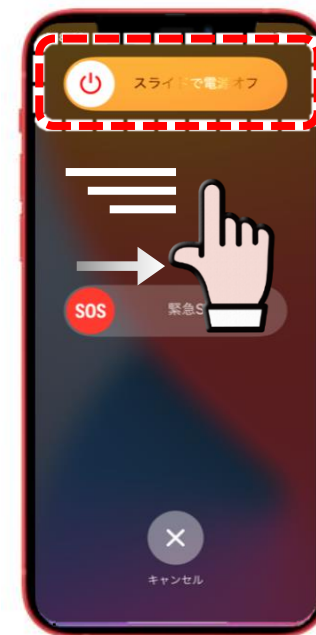
電源の切り方【ホームボタン非搭載機種】

- ① 本体右側面の上の方にあるサイドボタンと、左側面にある音量ボタンの上下いずれかのボタンを同時に長押しします。



- ② VoiceOverを使用している場合、「スライドで電源オフ」と聞こえたら画面中央をダブルタップします。
- ※ VoiceOverの読み上げ位置がずれている場合がありますので、その場合はタッチ操作か左右のスワイプ操作で「スライドで電源オフ」に合わせてからダブルタップしてください。

VoiceOverを使用していない場合は、画面上の「スライドで電源オフ」と書かれた箇所を左から右にスライドすると電源が切れます。



※ 最近のスマートフォンはバッテリー容量が大きいので電池残量を気にして電源を切る必要はありません。

1-D iPhoneの各部名称と電源操作

ホーム画面に戻るには【ホームボタン搭載機種】

ホームボタンを押す

- ➡ ホーム画面に戻ります
(戻ると効果音が鳴ります)
ホーム画面が何ページもある場合は、
最後に開いていたページに戻ります。

ホーム画面が表示された状態でホームボタンを押す

- ➡ 必ず1ページ目のホーム画面に戻ります。(効果音が鳴ったあと、音声で「ホーム」とガイドがあります)

※ なお、ホームボタンを連続で押す場合は、1秒程度の間隔を開けましょう。

2回以上素早くホームボタンを押すと、後で説明する「アップスイッチャー」や「ショートカット」の機能が立ち上がる場合があります。その場合は再度ホームボタンを押すと、もとのホーム画面に戻ります。

1-D iPhoneの各部名称と電源操作

ホーム画面に戻るには【ホームボタン非搭載機種】

画面のいちばん下、本体の下の縁から画面中央に向かって1本指でスライドしていく

➡ 中心に近づくにしたがって音程が上がりながら「ポン ポン ポン」と最大3回の効果音が鳴ります。

このうち「ポン ポン」と2回鳴ったところで画面から指を離すと、効果音が鳴りホーム画面に戻ります。

ホーム画面が何ページもある場合は、最後に開いていたページに戻ります。

ホーム画面が表示された状態で上記と同じ動作をする

➡ 必ず1ページ目のホーム画面に戻ります。
(この時は効果音が鳴ったあと、音声で「ホーム」とガイドがあります)

※ 「ポン ポン」という音が鳴らず、うまくいかなかった場合は、ホーム画面にあるアプリの名前などを読み上げますが、画面に1本指で触れている限りは、勝手に何かが実行されることはありません。あわてず、画面から指を離し、再度やってみましょう。

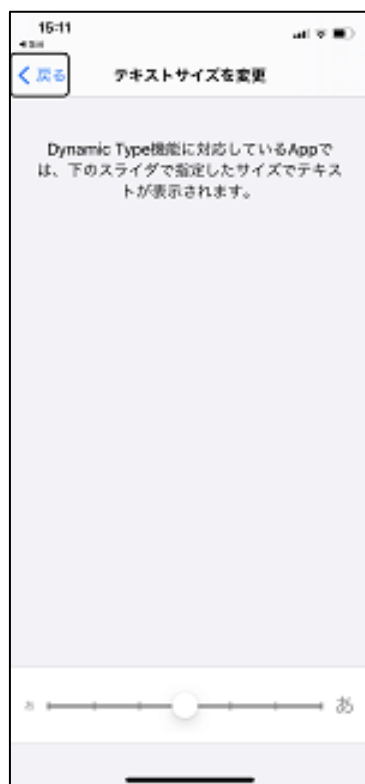
2

アクセシビリティ設定

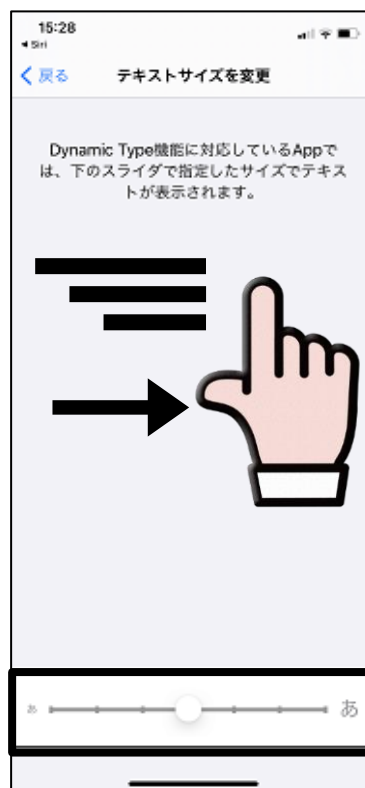


2-A アクセシビリティ設定 文字のサイズと太さの調整

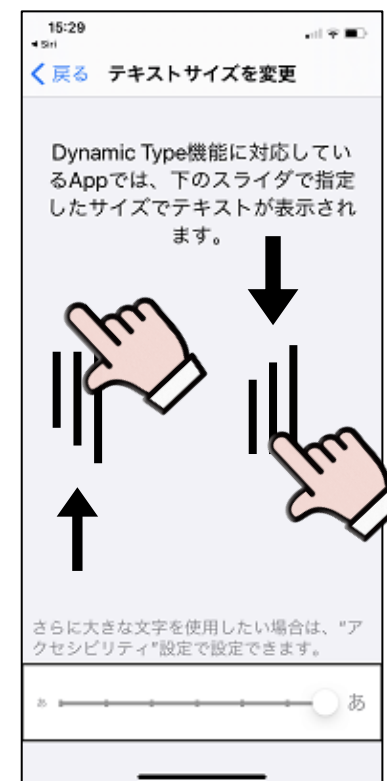
- ① Siriを起動して「文字サイズの変更」と声をかけます。
設定アプリ内「テキストサイズを変更」を呼び出します。



- ② 「〇〇%調整可能」と聞こえるまで右スワイプを繰り返します。



- ③ 上または下にスワイプして見やすい文字サイズに調整します。



2-A アクセシビリティ設定 文字のサイズと太さの調整

設定アプリで下記の設定を行うと、さらに文字を太く、大きくすることが可能です。

※一部のアプリではこの設定が反映されません。

① 設定アプリを開く

Siriを起動して「設定アプリ(設定)を開いて」と声をかけても構いません。

② アクセシビリティに進む

「アクセシビリティ」と読み上げるまで右スワイプを繰り返し、ダブルタップします。

③ 画面表示とテキストサイズ ➡ 「文字を太くする」をオンにする

「画面表示とテキストサイズ」と聞こえるまで右スワイプを繰り返してダブルタップを行うと「文字を太くする、オフ」と読み上げます。ここでもダブルタップしてこの設定をオンにします。

※ すでにオンの状態であれば変更の必要はないため「文字を太くする、オン」の後のダブルタップは必要ありません。



2-A アクセシビリティ設定 文字のサイズと太さの調整

④ 「さらに大きな文字」に進む

右スワイプで「さらに大きな文字」に進み、「さらに大きな文字、オン」と読み上げた場合は、設定の変更は必要ありません。

⑤ 「さらに大きな文字」をオンにする

「さらに大きな文字、オフ」と読み上げた場合は、ダブルタップして次に進みます。再び「さらに大きな文字、オフ」と読み上げますので、再度ダブルタップしてこの設定をオンにします。

「アクセシビリティ」と読み上げるまで右スワイプを繰り返し、ダブルタップします。

⑥ 見やすい文字に調整する

「〇〇%調整可能」と読み上げるまで右スワイプで移動して、上または下スワイプで見やすい文字サイズに調整します。



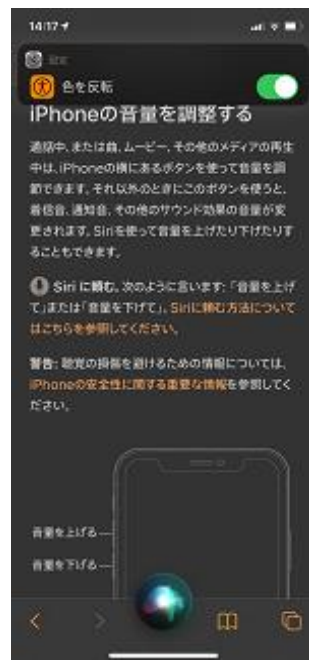
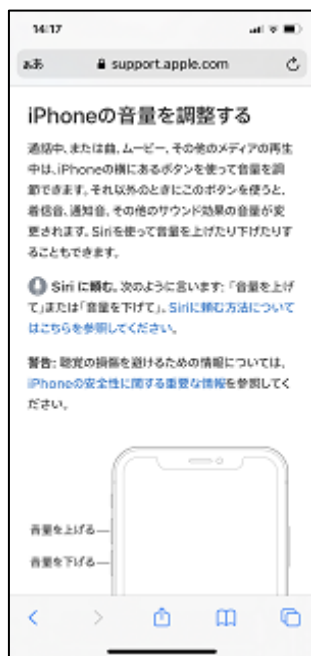
※ この設定変更後は、最初に紹介した方法でも最大の文字サイズまで選ぶことが可能になります。

※ 「文字を太くする」の設定は、Siriでも行うことが出来ますが、今はまだ反応が不安定なためお薦め出来ません。また、「さらに大きな文字」の設定は、今のところSiriでは行えません。

2-B アクセシビリティ設定 画面の色を反転

- ① Siri を起動して「色を反転をオン」と声をかけます。
- ② ホームボタン（サイドボタン）を1回押してSiriを終了します。

解除の際は、Siriを起動して「色を反転をオフ」と声をかけ、最後にホーム画面に戻る操作を行いSiriを終了します。



Siriを使わずに設定から変更を行う場合

- ① 設定アプリを開く
 - ② アクセシビリティに進む
 - ③ 画面表示とテキストサイズに進む
 - ④ 反転（スマート）をオンにする
- ※ 上記と同じ手順で進み、チェックを外すと反転が解除されます。
- ⑤ 設定が完了したらアップスイッチャーを利用して設定アプリを終了します。

スマート : ホーム画面やカメラアプリなど、一部のアプリでは反転されない。

クラシック : すべての状態で色を反転する。

※ Siriを利用した場合は自動でスマートが選択されます。

※ ダークモード : 黒基調の画面（設定アプリの「画面表示と明るさ」で変更可能）

2-C アクセシビリティ設定 画面の拡大（ズーム機能）

① Siriを起動して「アクセシビリティを開いて」と声をかけます。

② 「ズームオフ」と聞こえるまで右スワイプを繰り返します。



※ ここで「ズームオン」と読み上げた場合は、すでにズーム機能がオンになっているので、変更の必要ありません。

アップスイッチャーを利用して設定アプリを終了してください。

2-C アクセシビリティ設定 画面の拡大（ズーム機能）

- ③ 「ズーム機能オフ」と聞こえたら、ダブルタップします。



続けて「ズーム機能オフ」と読み上げますので、再度ダブルタップしてこの設定をオンにします。

④

（ズーム機能をオンにした状態で）

- ① 3本指で画面をダブルタップ
指定した倍率に画面が拡大されます。
できるだけ自分が拡大したい場所をタップすると、その周辺を拡大することができます。
- ② 3本指でダブルタップ後に画面から指を離さずに上下にスライド
上にスライドすると拡大、下にスライドすると縮小し、好きなサイズに変更できます。
- ③ 再度3本指でダブルタップ
拡大を解除します。

2-D アクセシビリティ設定 画面の明るさを調整

- 1 Siriを起動して「画面を明るく/暗くして」と声をかけます。
調整後はホームボタンを1回押してSiriを終了します。



- 2 画面が明るすぎる場合や暗すぎる場合は、左スワイプで明るさ調整スライダに移動し、上や下にスワイプして段階的に明るさを調整してください。



- 3 調整後は、左記の手順と同じようにホームボタン（サイドボタン）を一回押し、Siriを終了します。

その他にも、Siriを起動して「画面の明るさを50%にして」など最大の明るさに対する割合を伝えて調整することも可能です。